

## はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルドシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取り付け後も大切に保管し、必要に応じてお読み下さい。

## 取扱説明書 保証書付

年少用補助乗車装置 Group 0,1

商品名 **ソシエ・ネディ・ピピデビュー**

型式：LYF-375

### 注意

- 本装置は「汎用」年少用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少用補助乗車装置を搭載できると明記されている場合は、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
- 本年少用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少用補助乗車装置のメーカーが販売店にご相談ください。
- この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特にお知らせいただきたいことなど次のマークで表示しています。いづれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

**△警告** 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

**△注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

**⊘** 図示されている内容の禁止を示しています。

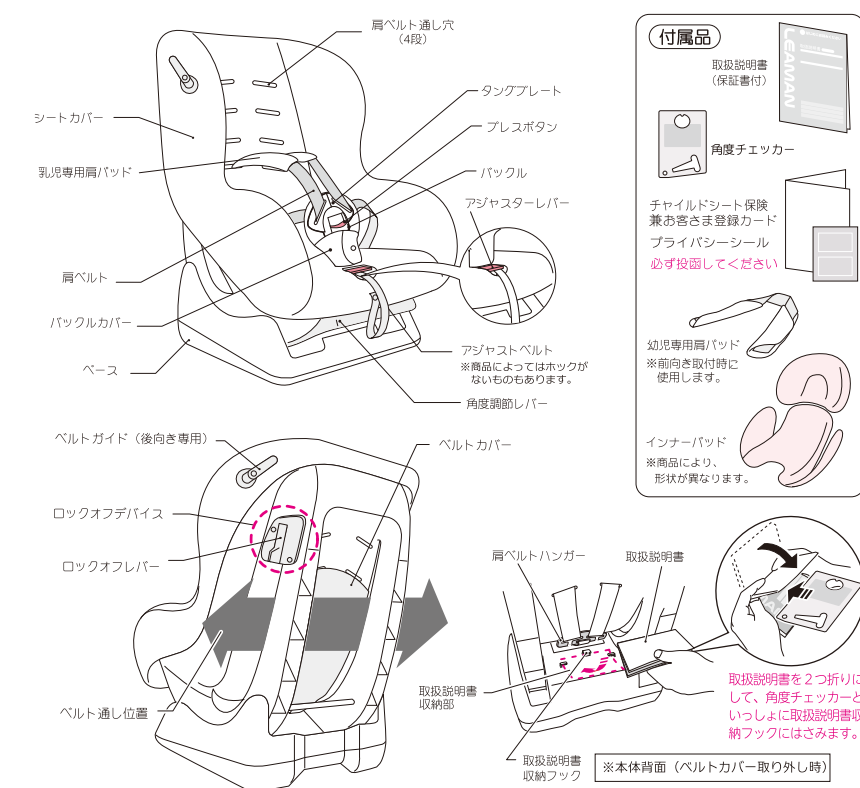
**Check** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

**ⓑ** アドバイス より安全、快適にご使用していただく上で知っておいただきたいこと。

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し(本体ベース背面の収納フック)、必要に応じてお読みください。

11384-10321-A

## 1. 各部の名称



## 2. お子さまの適用条件

**△警告** お子さまの体重が10kgを超えるまで、前向きで使用しないでください。

体重 身長のためやす 年齢のためやす	7kg未満 65cmまで	7kg~10kg未満 65cm~75cmまで	10kg~18kg以下 75cm~100cmまで
取付方向	後向き	後向き	前向き
取付具	インナーパッド ※商品により、形状が異なります。	なし	なし
その他	ひとり座りができ、首がしっかりとわっていること。	ひとり座りができ、首がしっかりとわっていること。	お子さまを座らせるとき、後頭部が背もたれの上から出ないこと。

## 3. 取り付けできない座席

**△警告** 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

**△注意** 助手席には取り付けしないでください。



- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- バツプシートベルト（座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けたチャイルドシートが安定しません）
- チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万のとき乗員の安全が確保できません）
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。

## 4. 取付可能な車両シートベルト

本装置は認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点式・巻取り装置なし・巻取り装置付き安全ベルトを装着している場合のみに使用できます。

- 車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、**お子さまの車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。**
- 車両シートベルトの種類 (○：取り付け可能 ×：取り付け不可)

3点式	巻取り装置有り						巻取り装置無し
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側	
○	×	○	○	○	○	○	○

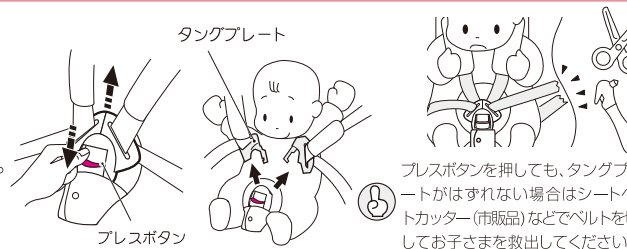
	特徴	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取り装置	ゆっくりと引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックします。	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取り装置	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなります。（シートベルトを全て巻き戻すと解除されます。）	チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを <b>全部引き出し</b> 、ALR機能に切り換えてください。 <b>△注意</b> 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書もお確かめください。	○
ALR 自動ロック式 ベルト巻取り装置	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	チャイルドシートを固定するのに <b>必要なだけの長さを一気に引き出し</b> てから、チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	○
NLR	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせてシートベルトの長さを調節し固定します。	○
バツプシートベルト	座席に乗ってドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	チャイルドシートを固定することができません。	×
その他のシートベルト	表記されていないものすべて。	チャイルドシートを固定することができません。	×

**△警告** 2点式シートベルトには取り付けできません

## 5. 必ずお読みください

### 緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



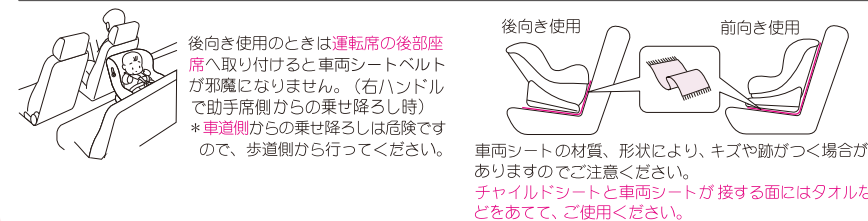
**△警告** \*記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。
- 保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。
- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納したままのご使用は危険ですので絶対におやめください。
- お子さまの不特定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。
- チャイルドシートを保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期開放しないでください。
- 後部座席に人が乗る場合のドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出確保のため、取り付けないでください。
- チャイルドシートを改造したり、カバー類・クッション類は取りはずして使用しないでください。
- お子さまの負担を考慮1時間以上連続して使用しないでください。また、新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。
- 車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようご注意ください。
- チャイルドシートは車両以外のご使用をおやめください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにチャイルドシートを取り付けてください。
- お子さまの乗り降りの際など、チャイルドシートの端に体重をかける、転倒してケガなどをするおそれがあります。
- 車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

**△注意** \*記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

- お子さまを乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態で行ってください）
- チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取りはずしはおやめください。
- お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がりたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具はしないでください。
- チャイルドシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。
- より安全、快適にご使用していただく上で知っておいただきたいこと。
- 後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けると車両シートベルトが邪魔になりません。（右ハンドルで助手席側からの乗せ降る時）  
\*車道側からの乗せ降る時は危険ですので、歩道側から行ってください。
- 後向き使用 前向き使用

**ⓑ** アドバイス \*より安全、快適にご使用していただく上で知っておいただきたいこと。



## 6. お手入れの仕方

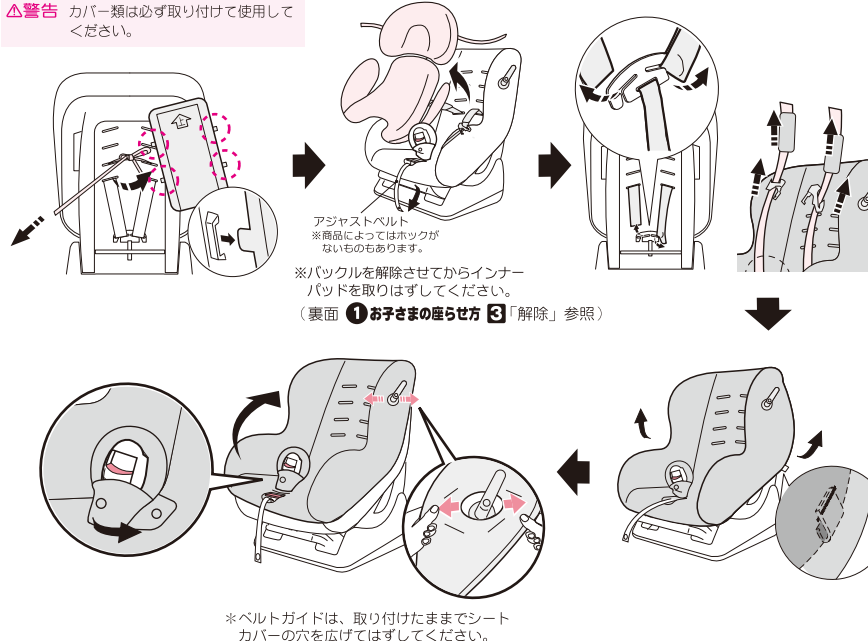
- シートカバーなどの縫製品の洗いや
- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いでください。
  - 漂白剤は使用しないでください。
  - 洗剤系漂白剤は使用しないでください。
  - 乾燥機は使わず、タオルなどで押し乾かし、風通しのよい日かげに干してください。
  - アイロン掛けはしないでください。
  - ドライクリーンングはしないでください。

### 日常のお手入れ方法

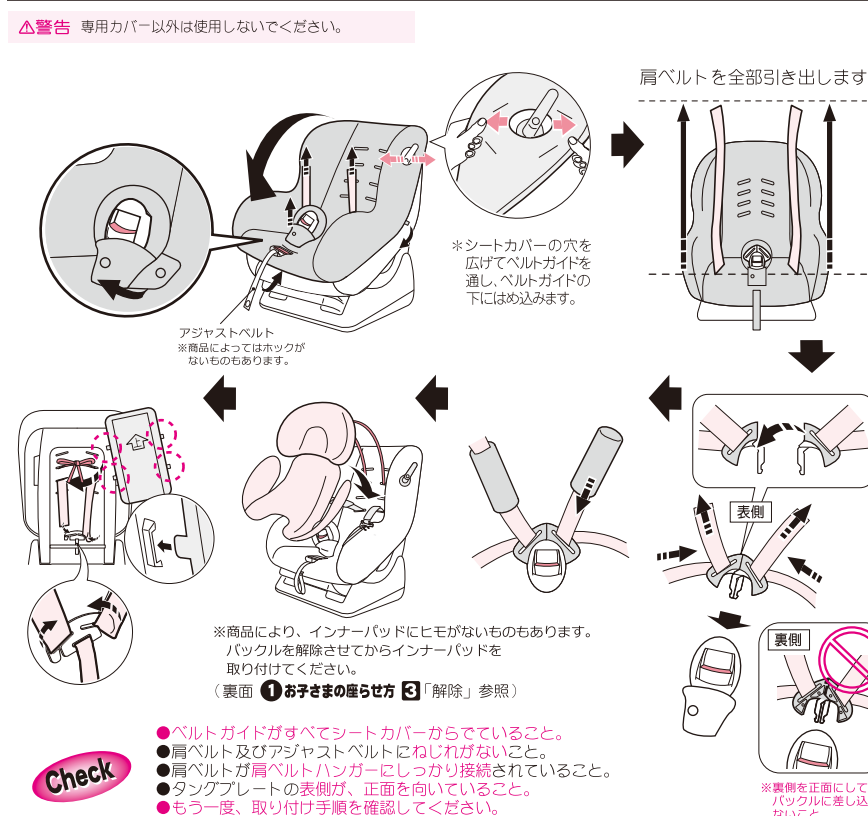
- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。（一部商品によっては洗えないものもあります。）
- 脚部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルやぬいタオルなどで拭いてください。
- 掃除機などで、ほこりやこみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうに拭き取ってください。
- 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

**△警告** 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあります。

## シートカバーの取りはずし方



## シートカバーの取り付け方



## 7. インナーパッドの使い方





# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

詳しい取り付け方を動画で確認できます ▶▶

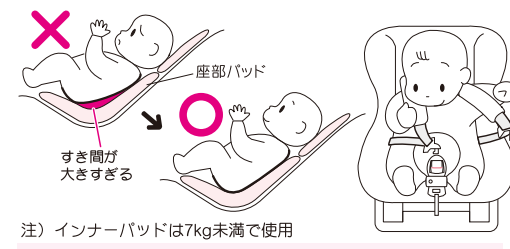


## 1 お子さまの座らせ方

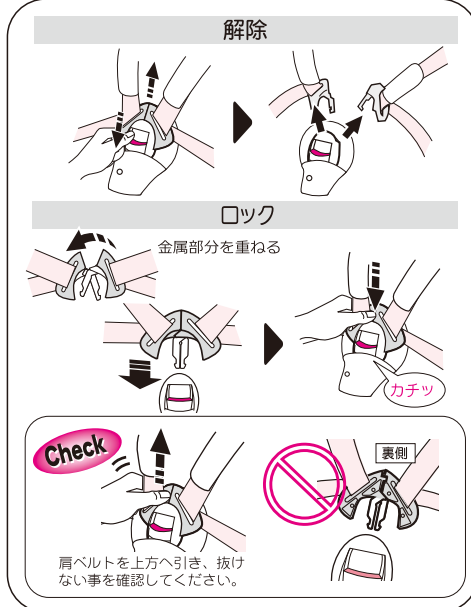
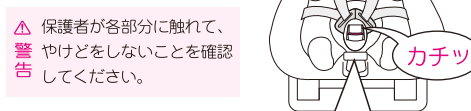
- △警告 お子さまの着座の際に、かならずアジャスターレバーを引いてお子さまを拘束してください。
- △警告 バックル部分は異物が詰まったり飲み物がつかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
- △警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるようにかならず腰ベルトを低く下げて着用してください。



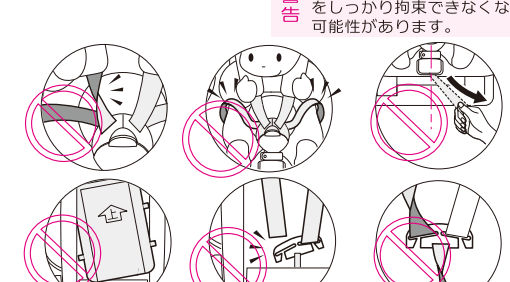
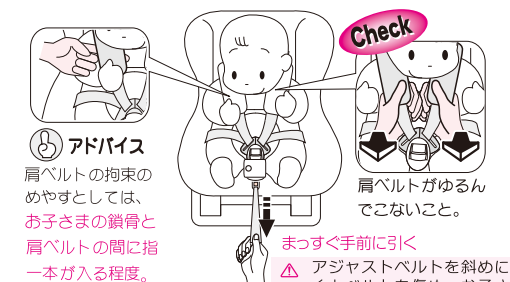
2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。



3 バックルとタンクプレートをロックします。



4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



## 2 肩ベルト高さ調節

お子さまの体重：**10kg未満**

身長のためやす：**75cmまで**

年齢のためやす：**新生児～12ヶ月頃**

### 後向き取付け



Check

#### 取付具

体重：7kg未満  
身長：65cmまで



体重：7～10kg未満  
身長：65～75cmまで



## 2 幼児専用肩パッドへの交換

お子さまの体重：**10～18kg以下**

身長のためやす：**75～100cmまで**

年齢のためやす：**12ヶ月頃～4才頃**

### 前向き取付け



△警告

お子さまの体重が10kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

Check

#### 取付具



△警告

かならず幼児専用肩パッドを使用してください。

## 3 取付角度調節

お子さまを座らせ肩ベルトの高さを決めます

Check 1

△警告 肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さか、やや低めの肩ベルト通し穴を使用してください。

注) 新生児～6ヶ月頃はインナーパッド使用で確認します。

△注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。肩ベルトおよび、アジャストベルトははじれないように、肩ベルトハンガーに取り付けてください。

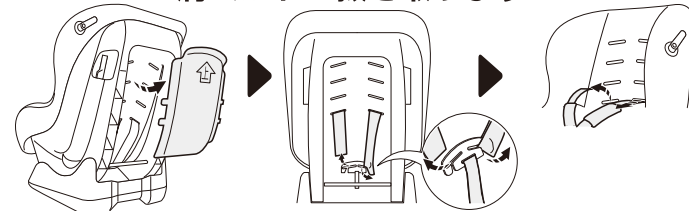
肩ベルトの高さが合っていれば 3へお進みください

注) 工場出荷時には肩ベルトの高さは最下位にセットしてあります。

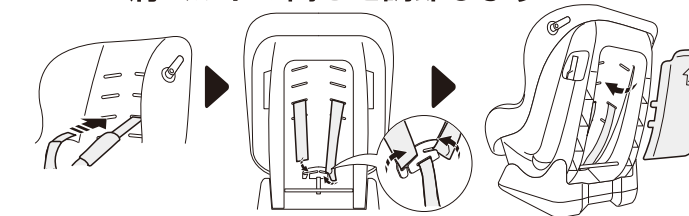
肩ベルトの高さが合わなければ調節してください

アジャスターレバーを引いたまま、肩ベルトを手前に引けなくなるまで引き出します。(左図 1 お子さまの座らせ方 1 参照。)

肩ベルトを抜き取ります



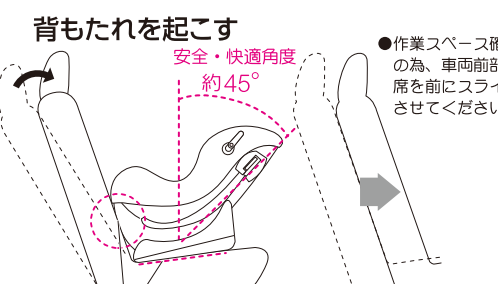
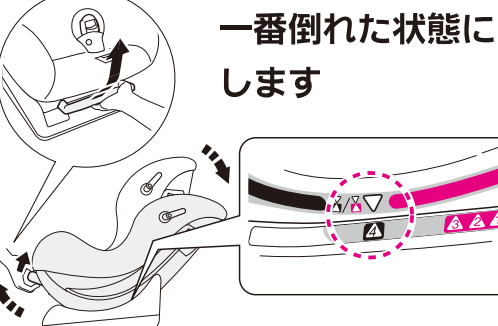
肩ベルトの高さを調節します



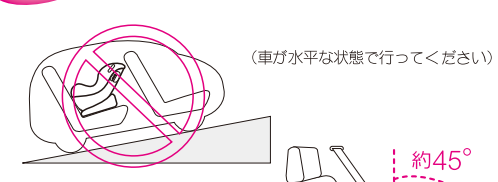
- ベルトがねじれないようにかけてください。
- ベルトカバーはかならず取り付けてご使用ください。

## 3 取付角度調節

車両シートに後向きで置きます



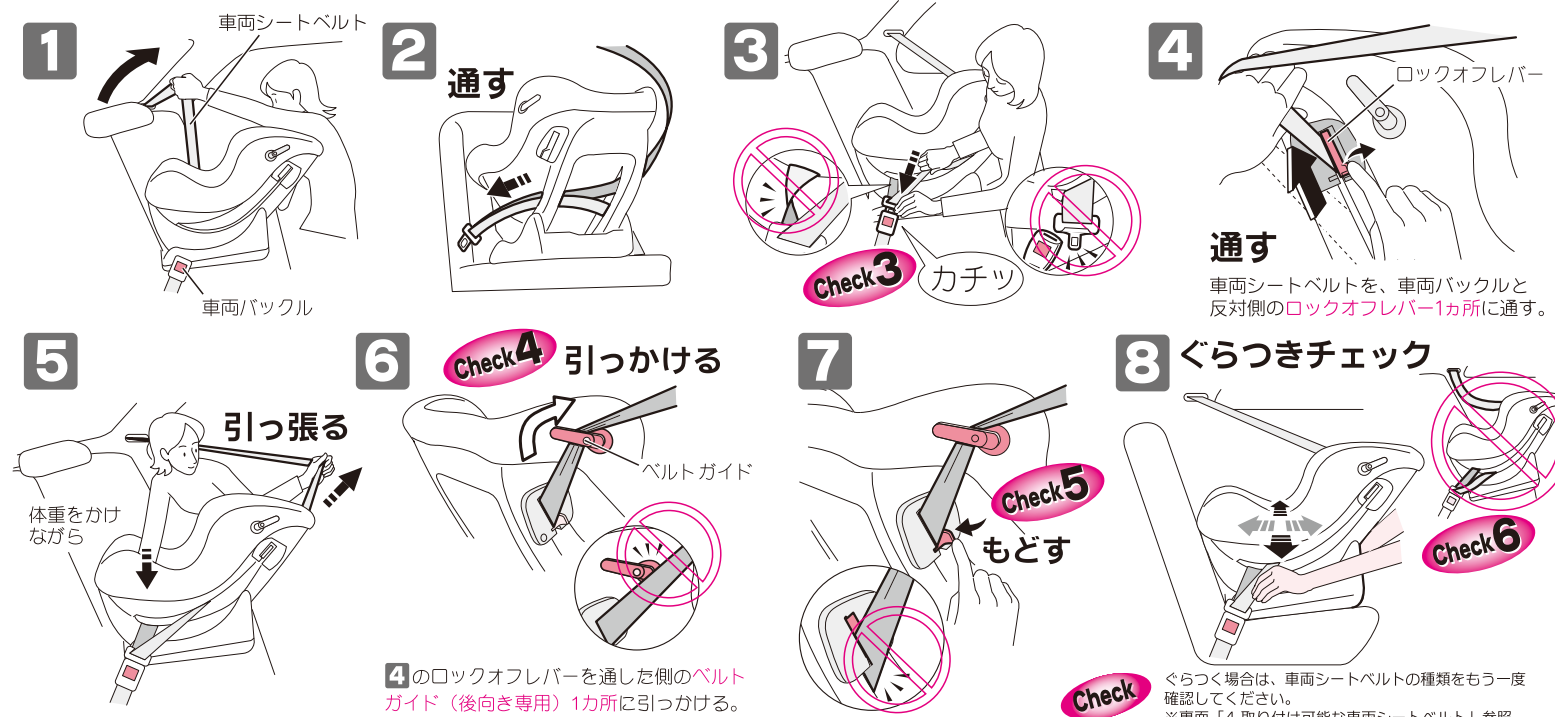
Check 2 接するように



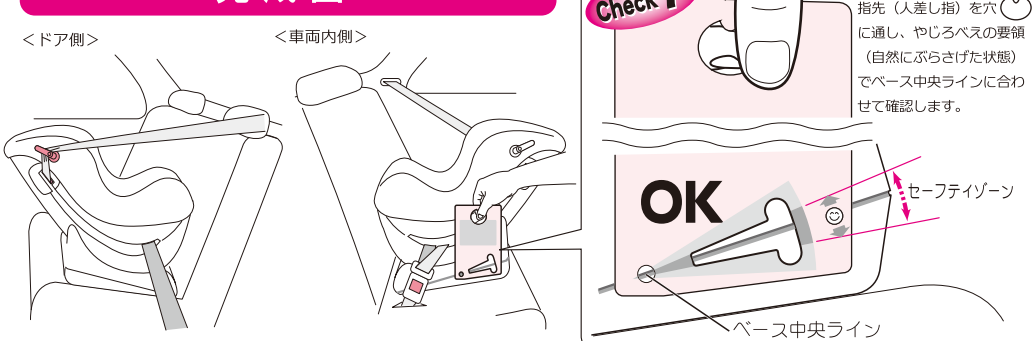
アドバイス

※セーフティーゾーンに入らないときはクッションなど本体の下に入れて調節してください。

## 4 後向き取付手順



### 完成図



Check 1～7 はかならずおこなってください。

以上の項目をチェック後

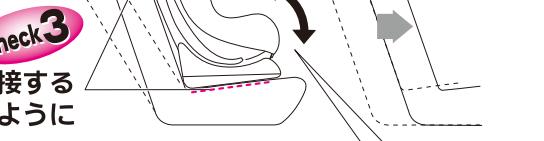
●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつき場合はもう一度取付手順の 1～8 の順序で、取り付けをやり直してください。

## 3 取付角度調節

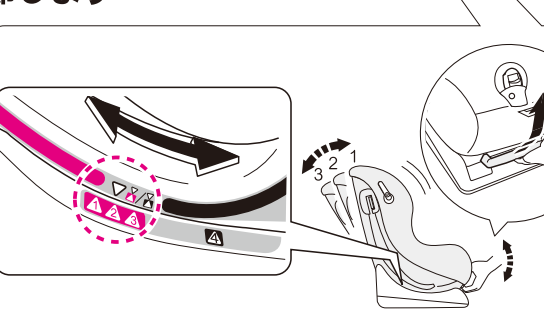
車両シートに前向きで置きます

背もたれを起こす

●車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。



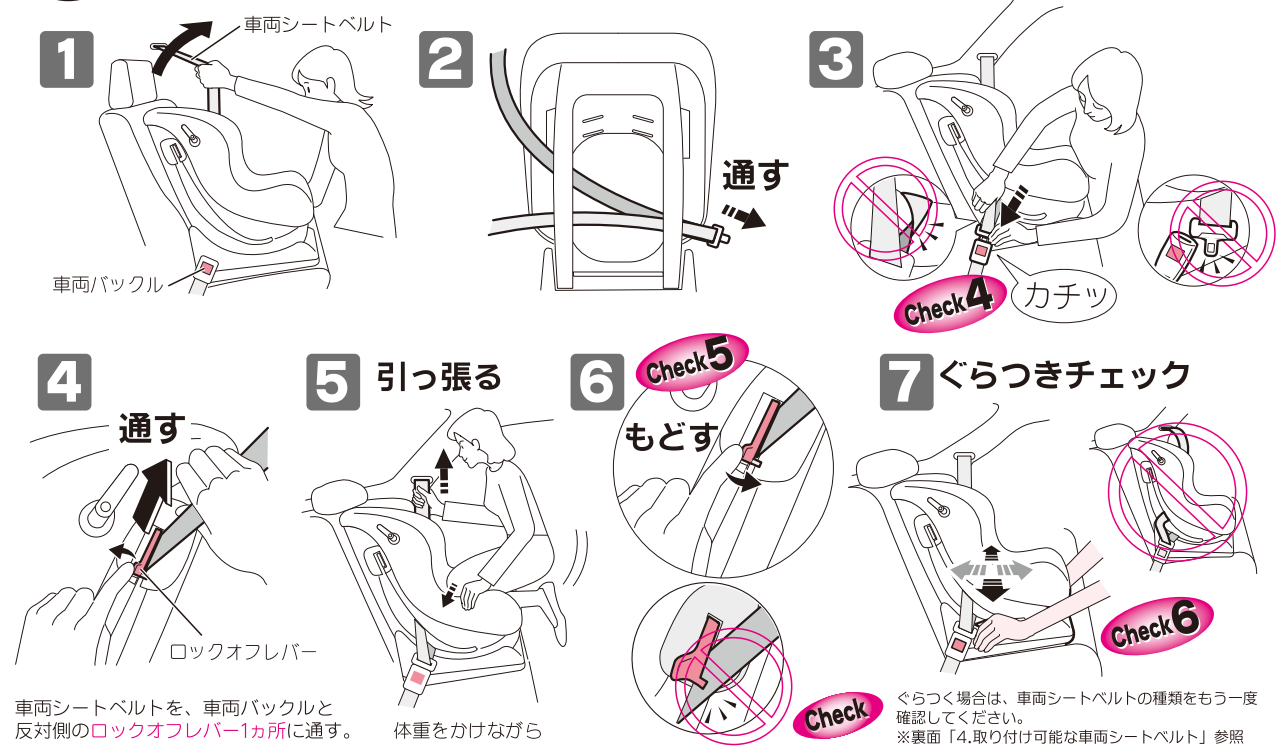
車両座席の背もたれ角度に合わせてリクライニング調節します



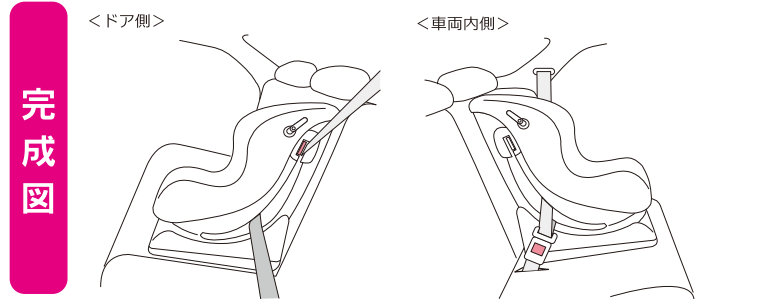
アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりガタつきが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。左図のようにクッションなどを入れてチャイルドシートを固定してください。

## 4 前向き取付手順



### 完成図



Check 1～6 はかならずおこなってください。

以上の項目をチェック後

●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつき場合はもう一度取付手順の 1～7 の順序で、取り付けをやり直してください。